

EasyBlocks

Hinemos4.1アプリケーション ユーザーズガイド



Ver. 1.4.1

ぷらっとホーム株式会社

■ 商標について

- ・ EasyBlocks はぷらっとホーム株式会社の登録商標です
- ・ Hinemos は株式会社NTTデータの登録商標です
- ・ その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

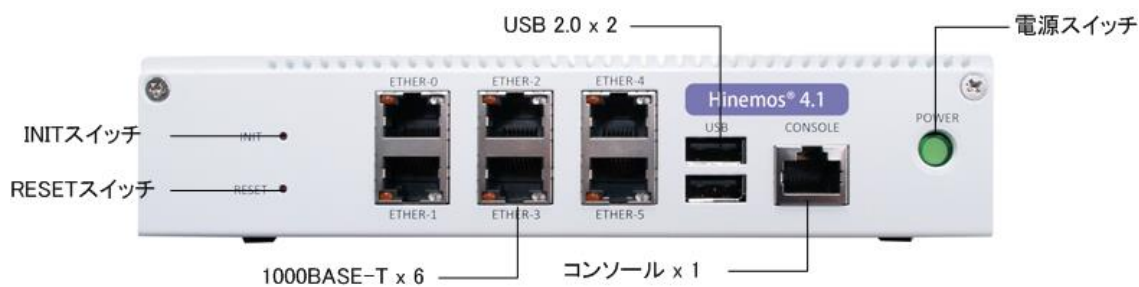
目次

第1章 はじめに	4
1-1. 各部の名称	4
1-2. ステータスインジケータ	4
1-3. 工場出荷時状態へのリカバリ	5
1-4. 出荷時設定情報	6
第2章 設置・初期設定	7
2-1. 初期設定に必要な情報の確認	7
必須項目	7
2-2. 管理インタフェースへの接続	7
2-3. 初期設定	8
第3章 管理インタフェース	12
3-1. システム	13
3-2. ネットワーク	15
3-3. メンテナンス	17
3-4. Hinemos サービスの設定	19
第4章 Hinemos の設定	28
4-1. Hinemos クライアントのインストール	28
4-2. Hinemos マネージャーの設定	28
4-3. 一括制御機能でのファイル配布	29
4-4. パッチプログラムの適用	29

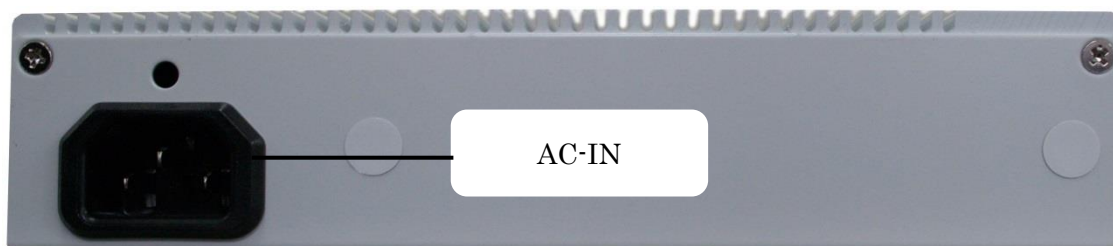
第1章 はじめに

1-1. 各部の名称

■ 前面コネクタ



■ 背面コネクタ



1-2. ステータスインジケータ

停止中：

Power スイッチ LED が消灯しています

稼働中：

Power スイッチ LED が点灯しています

停止後(シャットダウン処理後)：

Power スイッチ LED が消灯します

1-3. 工場出荷時状態へのリカバリ

起動時にシリアルコンソールソフトウェア (Teraterm や Putty 等) を使い、リカバリモードで起動することで、初期状態画面での起動が可能です。コンソール用変換アダプタは、PC 側のシリアルポートに直接接続します。PC 側にシリアルポートが無い場合は、別途 USB-シリアル変換アダプタ等をご用意ください。

●初期設定画面での起動方法

起動時にシリアルコンソールを使い、リカバリモードで起動すると出荷状態での IP アドレス及び初期設定画面で起動します。

GRUB 画面にて”v”キーにて以下のようにリカバリモードを選択し起動してください。



WEB I/F の初期設定画面にて、管理者情報を設定した際に WEB I/F に関する以前の設定情報 (IP アドレス、ホスト名等) は全てリセットされます。

※WEB I/F 上の Hinemos の設定は初期状態ですが、Hinemos 自体の設定情報は以前のままとなります。

※管理者情報を設定せず再起動した場合、以前の設定情報のまま出荷状態での IP アドレスで起動します。

1-4. 出荷時設定情報

■ IP アドレス

Ether-0	IP アドレス :	192.168.254.254
	ネットマスク :	255.255.255.0
Ether-1	IP アドレス :	未設定
	ネットマスク :	未設定
Ether-2	IP アドレス :	未設定
	ネットマスク :	未設定
Ether-3	IP アドレス :	未設定
	ネットマスク :	未設定
Ether-4	IP アドレス :	未設定
	ネットマスク :	未設定
Ether-5	IP アドレス :	未設定
	ネットマスク :	未設定

■ WEB I/F のアドレス

Ether-0 : <http://192.168.254.254:880/>

■ WEB I/F の管理者ユーザー

初回アクセス時に、ご自身で設定していただきます。

パスワード変更等は、WEB I/F のシステムメニューから行います。

■ Hinemos マネージャーへのログインユーザー

ID: hinemos / パスワード: hinemos

パスワード変更等は、Hinemos クライアントのアカウント機能から行います。

■ 一括制御機能用 FTP ユーザー

ID: crftp / パスワード: hinemos

パスワード変更等は、WEB I/F の Hinemos サービスの一括制御メニューから行います。

第 2 章 設置・初期設定

2-1. 初期設定に必要な情報の確認

必須項目

- ・ ネットワーク
 - Ether-0 の IP アドレス/ネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ
 - DNS サーバー
- ・ Hinemos サービス
 - なし(監視設定は除く)

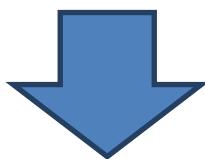
2-2. 管理インタフェースへの接続

初期設定は、設定用 PC との 1 対 1 のクロスケーブル接続を推奨します。1-4. 出荷時設定情報に記載の IP アドレスに合わせて、設定用 PC の IP アドレスを重複のないように変更して下さい(192.168.254.10 や 11 等、0/254/255 以外)。その後、次の URL を開くことで、設定を開始できます。

Ether-0 : <http://192.168.254.254:880/>

2-3. 初期設定

管理インタフェースを表示すると、初期設定画面が表示されます。



使用許諾契約書に同意することで、設定項目が表示されます。

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書 同意しない

管理者アカウント

ユーザー名

パスワード

パスワード(確認)

サポートデスク

アカウント ID: パスワード:

操作

ユーザー名:	管理インタフェースへのログインに使用します アルファベット(A-Z,a-z)及び数字が使用できます
パスワード:	同用途のパスワードです アルファベット(A-Z,a-z)及び数字が使用できます
パスワード(確認):	//
サポートデスク:	サポートデスク加入者に発行されるアカウント及びパスワード アップデータは、このアカウントが有効な場合のみダウンロード可 アルファベット(A-Z,a-z)及び数字が使用できます

これらを設定後、保存することで次の画面に進みます。

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。

基本 ルーティング プロキシ 状態

ホスト名

ドメイン名

デフォルトゲートウェイ

DNSサーバー1

DNSサーバー2

DNSサーバー3

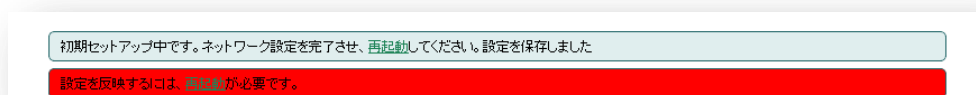
サービスネットワーク (Ether.0)

IPアドレス /



ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイ アドレス
DNS サーバー :	EasyBlocks が参照する DNS サーバー
Ether-0 IP アドレス :	Ether-0 に割り当てる IP アドレス
Ether-1 IP アドレス :	Ether-1 に割り当てる IP アドレス 「使用する」を「はい」と選択することで表示 Ether-2 ~5 の項目もあります

これらを設定後、保存することで画面上に再起動の案内が表示されます。
リンクをクリックすることで、再起動画面に移動します。



再起動の実行ボタンをクリックすることで、再起動が可能です。

システム全体の概要

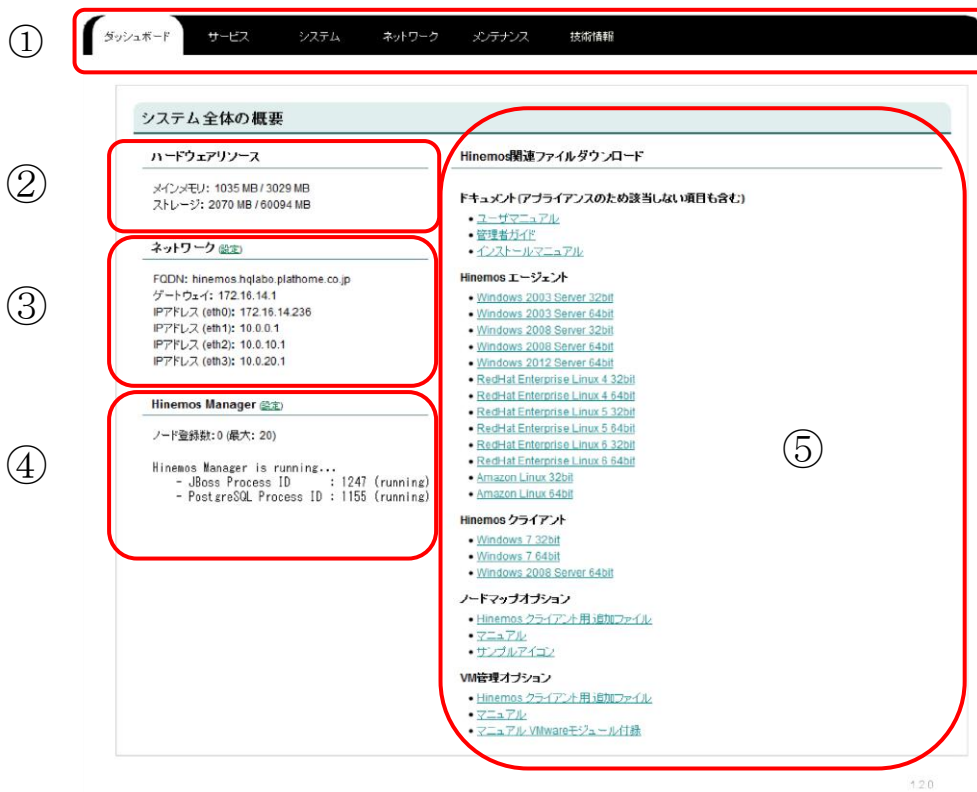
<h4>ハードウェアリソース</h4> <p>メインメモリ: 1007 MB / 3029 MB ストレージ: 2070 MB / 60094 MB</p>	<h4>Hinemos関連ファイルダウンロード</h4> <p>ドキュメント(アプライアンスのため該当しない項目も含まれる)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザマニュアル • 管理ガイド • インストールマニュアル
<h4>ネットワーク (設定)</h4> <p>FQDN: hinemos.example.org ゲートウェイ: 172.16.7.1 IPアドレス (eth0): 172.16.7.204</p>	<h4>Hinemos エージェント</h4> <ul style="list-style-type: none"> • Windows 2003 Server 32bit • Windows 2003 Server 64bit • Windows 2008 Server 32bit • Windows 2008 Server 64bit • Windows 2012 Server 64bit • Red Hat Enterprise Linux 4 32bit • Red Hat Enterprise Linux 4 64bit • Red Hat Enterprise Linux 5 32bit • Red Hat Enterprise Linux 5 64bit • Red Hat Enterprise Linux 6 32bit • Red Hat Enterprise Linux 6 64bit • Amazon Linux 32bit • Amazon Linux 64bit
<h4>Hinemos Manager (設定)</h4> <p>ノード登録数: 0 (最大: 20)</p> <p>Hinemos Manager is running...</p> <ul style="list-style-type: none"> - jBoss Process ID : 1247 (running) - PostgreSQL Process ID : 1155 (running) 	<h4>Hinemos クライアント</h4> <ul style="list-style-type: none"> • Windows 7 32bit • Windows 7 64bit • Windows 2008 Server 64bit <h4>ノードマップオプション</h4> <ul style="list-style-type: none"> • Hinemos クライアント用追加ファイル • マニュアル • サンプルアイコン <h4>VM管理オプション</h4> <ul style="list-style-type: none"> • Hinemos クライアント用追加ファイル • マニュアル • マニュアル VMware モジュール付属

再起動が完了すると、上記画面に移動します。
以降は目的に応じて、サービスの設定を実施してください。

第3章 管理インターフェース

管理インターフェースの基本的な画面構造について解説します。

■ ダッシュボード



① メニュータブ

白抜きの部分が表示中の項目です

ダッシュボード：システム全体の概要を表示します

サービス：Hinemos サービスの設定

システム：NTP や管理者ユーザーの設定等

ネットワーク：ネットワーク設定

メンテナンス：アップデートや再起動等

② メインメモリ、ストレージの利用状況

③ 主なネットワーク設定

④ Hinemos のプロセス状況

⑤ Hinemos のドキュメントやクライアントソフトウェア等のダウンロード

3-1. システム

■ 時刻設定

◆時刻設定

PC と時刻を同期：	操作時 PC の時刻情報を装置におくり反映させます
NTP サーバー：	3 台まで設定可能

■ リポジトリ

◆リポジトリ情報

セキュリティアップデート：	同左のダウンロード元（通常は変更不要）
EasyBlocks システム：	同上
サポートデスクアカウント：	アップデートのダウンロードの際に必要となります

■ WEB 管理者

ユーザー名 :	管理インターフェースのためのユーザーアカウントです
パスワード :	同上
権限 :	すべての設定変更が可能な「全権」、参照のみ可能な「参照のみ」があります。

■ マイページ

ユーザー名 :	ログイン中のアカウントの登録情報を編集するため、ユーザー名は変更できません
パスワード :	変更する場合のみ入力してください

3-2. ネットワーク

■ 基本

ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
DNS サーバー :	EasyBlocks が参照する DNS サーバー
Ether-0 IP アドレス :	Ether-0 に割り当てる IP アドレス
Ether-1 IP アドレス :	Ether-1 に割り当てる IP アドレス (使用は選択)
Ether-2 IP アドレス :	同上
Ether-3 IP アドレス :	同上
Ether-4 IP アドレス :	同上
Ether-5 IP アドレス :	同上

■ ルーティング

ネットワークアドレス :	当て先のネットワークアドレス、ネットマスクを入力します
ゲートウェイ :	利用するゲートウェイのアドレスを入力します
一覧 :	設定中のルーティングテーブルが表示されます

■ プロキシ

アドレス:ポート :	Proxy サーバーのアドレス及びポート番号
BASIC 認証 :	Proxy サーバー用の ID とパスワード(必要な場合のみ)

■ 状態

```

ifconfig
eth0  Link encap:Ethernet  HWaddr 00:0a:85:00:04:24
      inet addr:172.16.7.204  Bcast:172.16.7.255  Mask:255.255.255.0
      inet6 addr: fe80::20a:85ff:fe08:424/64 Scope:Link
      UP BROADCAST RUNNING MULTICAST  MTU:1500  Metric:1
      RX packets:4719 errors:0 dropped:1830 overruns:0 frame:0
      TX packets:834 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
      collisions:0 txqueuelen:512
      RX bytes:416433 (406.5 KiB)  TX bytes:808652 (789.8 KiB)
      Interrupt:0

lo    Link encap:Local Loopback
      inet addr:127.0.0.1  Mask:255.0.0.0
      inet6 addr: ::1/128 Scope:Host
      UP LOOPBACK RUNNING  MTU:65536  Metric:1
      RX packets:15641 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
      TX packets:15641 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
      collisions:0 txqueuelen:0
      RX bytes:3495582 (3.3 MiB)  TX bytes:3495582 (3.3 MiB)

netstat -nr
Kernel IP routing table
Destination Gateway Genmask Flags MSS Window irtt Iiface
0.0.0.0 172.16.7.1 0.0.0.0 UG 0 0 0 eth0
172.16.7.0 0.0.0.0 255.255.255.0 U 0 0 0 eth0

arp -an
? (172.16.7.209) at bc:5f:f4:72:03:0d [ether] on eth0
? (172.16.7.172) at 00:0c:29:ee:29:3b [ether] on eth0

/etc/hosts
::1 localhost
127.0.0.1 localhost
127.0.0.1 hinencs.example.org hinencs

/etc/resolv.conf
nameserver 172.16.2.6

```

IP アドレスや DNS サーバー、ルーティングテーブル等、実際に内部 OS で設定されている内容を表示します。

3-3. メンテナンス

■ 設定



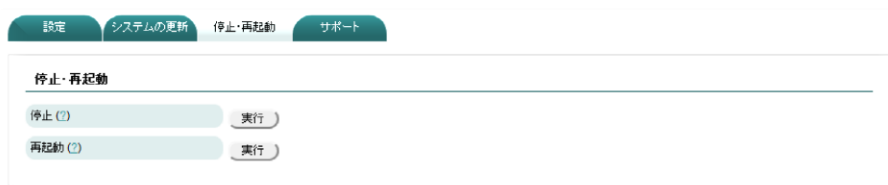
設定情報エクスポート：	EasyBlocks 全体の設定をエクスポート
設定情報インポート：	// をインポート

■ システムの更新



オンライン：	「更新有無を確認」で有無を確認し、アップデートがある場合は、パッケージリストと更新予約ボタンが表示されます。
オフライン：	WEB サイトからダウンロードした、アップデートを使用して更新を実行します。

■ 停止・再起動



停止：	停止します
再起動：	再起動します

■ サポート

設定
システムの更新
停止・再起動
サポート

問い合わせ先

対応時間 月～金曜日 9:30-18:00 ※ 祝祭日・年末年始を除く

TEL 03-5213-4372

FAX 03-3221-0882

E-Mail support@plathome.co.jp

ログ・環境情報取得

ダウンロード

問い合わせ先：	弊社サポートの問い合わせ先を記載しております
ダウンロード：	不具合等の問い合わせ時には、こちらでダウンロードした情報をお送り下さい。状況確認の参考にさせていただきます。ダウンロードできるデータは、 tar + gzip 形式でありご自身で内容をご確認いただくことも可能です。

3-4. Hinemos サービスの設定

■ プロセス



◆ プロセス操作

状態 :	Hinemos マネージャーの稼働状況を表示します。
停止 :	” を停止します。
開始 :	” を開始します

■ 通知

監視結果のメール通知や処理異常/セルフチェックの Syslog/メール通知を行うには、ここで関連項目の設定が必要です。通常表示される項目よりも細かな変更が必要な場合は、先頭にある「詳細設定項目を表示する」を選択してください。

◆ メール通知

メール通知を利用する：	する / しない
SMTP サーバー：	同左
SMTP サーバーポート：	同左
送信元(From)アドレス：	メール通知の送信元メールアドレス

◆ 処理異常/セルフチェックの通知

Syslog で通知する(両方)：	する / しない
送信先 Syslog ホスト：	同左
送信先 Syslog ポート番号：	同左
メールで通知する (セルフチェック)：	する / しない
宛先(To)アドレス：	メール通知の宛先メールアドレス

※ 詳細表示

◆日付書式

各種通知の日付書式：	Java の SimpleDateFormat に従って処理されます
------------	------------------------------------

◆メール通知

メール通知を利用する：	する / しない
SMTP サーバー：	同左
SMTP サーバーポート：	同左
SMTP Auth を行う	する / しない する場合は、ユーザー名とパスワードフィールドが追加表示
SSL/TLS を使用する：	する / しない
送信元(From)名前：	「Hinemos Admin」等の氏名相当のもの
送信元(From)アドレス：	メール通知の送信元メールアドレス
返信先(Reply-to)名前：	同左
返信先(Reply-to)アドレス：	同左
エラー(Errors-to)アドレス：	同左

◆ログエスカレーション通知

Syslog ヘッダのホスト名：	#[NODE]は通知対象ノード、#[FACILITY_ID]はファシリティ ID、固定値は指定した内容、空は Hinemos マネージャーのホスト名を Syslog ヘッダとして利用します
------------------	--

◆処理異常/セルフチェックの通知

Syslog で通知する(両方)：	する / しない
送信先 Syslog ホスト：	同左
送信先 Syslog ポート番号：	同左
メールで通知する (セルフチェック)：	する / しない
宛先(To)アドレス：	メール通知の宛先メールアドレス

■ 監視・管理等

VM 管理に関する追尾設定やイベントダウンロードやグラフ描画の上限数値等、監視実行における様々なパラメータ設定を行うには、ここで関連項目の設定が必要です。通常表示される項目よりも細かな変更が必要な場合は、先頭にある「詳細設定項目を表示する」を選択してください。

◆ VM 管理

自動追尾設定 :	off / on / ip off は無効、on は IP アドレスが取得できずデフォルトの仮アドレスの場合でも監視対象フラグが有効、ip は IP アドレスが取得できずデフォルトの仮アドレスの場合のみ監視対象フラグが無効
自動追尾設定の実行間隔(分) :	同左

◆ リポジトリ管理

SNMP による登録条件を緩和 :	false / true true とすることで、find by snmp で IN/OUT がなかったデバイス(nic, disk)も登録可能となります
-------------------	--

※ 詳細表示

◆ イベントダウンロード

1 回辺りの最大件数 :	同左
--------------	----

◆ サービス・ポート監視

DNS 動作確認用ホスト名 :	同左
-----------------	----

◆ システムログ監視

最大文字列長 :	同左
----------	----

◆ 性能(グラフ)監視

最大プロット数 :	同左
-----------	----

◆ VM 管理

自動追尾設定 :	<p>off / on / ip</p> <p>off は無効、on は IP アドレスが取得できずデフォルトの仮アドレスの場合でも監視対象フラグが有効、ip は IP アドレスが取得できずデフォルトの仮アドレスの場合のみ監視対象フラグが無効</p>
自動追尾設定の実行間隔(分) :	同左

◆ リポジトリ管理

SNMP による登録条件を緩和 :	<p>false / true</p> <p>true とすることで、find by snmp で IN/OUT がなかったデバイス(nic, disk)も登録可能となります</p>
-------------------	---

■ 一括制御

一括制御に必要な SSH の公開鍵/秘密鍵の生成やファイルコピーに利用する FTP サーバー用アカウントのパスワード変更を行う場合、ここで関連項目の操作が必要です。

◆ 公開鍵/秘密鍵の生成

生成/再生成性 :	実行の都度、鍵の再生成を実行します。生成された公開鍵は、本項目下のテキストフィールドに表示されます。秘密鍵はアプライアンス内で保持され公開されません。
公開鍵 :	前項機能で生成された公開鍵が表示されます。この内容を一括制御の対象ノードに登録することで一括制御が利用可能になります。対象ノードの root ユーザーにて、 \$HOME/.ssh/authorized_keys ファイルに追記(又は新規作成)してください。公開鍵は 1 行で記述します。

◆ 対象ノードの SSH キー変更への対応

Manager に登録された SSH キーの削除 :	対象の IP アドレスを入力して実行ボタンを押下します。
----------------------------	------------------------------

◆ FTP 用アカウントのパスワード変更

crftp アカウントのパスワード :	パスワードを入力して実行ボタンを押下します。 入力したパスワード情報は、ログイン用として内部 OS に反映されるとともに、crftp ユーザーのホームディレクトリ以下の
---------------------	---

	files/ftpuser.cfg に記録されます。
--	----------------------------

◆一括制御用ポート指定

一括制御用ポート：	<p>一括制御のファイル配信にて使用する制御ポートを選択し設定ボタンを押下します。</p> <p>即時にファイル配信用のポートが反映されます。</p>
-----------	---

■ JDBC 追加

PostgreSQL 以外のデータベースに対して SQL 監視を実施する場合に使用します。なお本機能によって追加した JDBC の利用についてのサポートはいたしません。

各項目を指定、ドライバファイルを選択し、保存を行うことで登録されます。有効にするには、Hinemos Manager の再起動が必要です。

■ SSL 追加

HTTPS を用いる監視対象のサーバ証明書を keystore へ登録します。有効にするには、Hinemos Manager の再起動が必要です。

登録時に用いる Alias はユニークにする必要があります。

また、操作→強制削除はメンテナンス→設定→インポートにて追加されたコンフィグ情報を削除することができます。



■ ノード登録

本項目から監視対象を Hinemos Manager へ登録することができます。
(Hinemos Manager のパスワードがデフォルト時のみ行えます。)



取得ノード情報では、IPv4 アドレスの範囲を指定し、PING 応答または SNMP(バージョン:1)応答があった IP アドレス一覧を取得ノード一覧に表示します。

取得ノード一覧に表示された IP アドレスマシンを選択すると、登録ノード設定の IP アドレスへ情報が反映されます。

HinemosManager が稼働している状態で登録ノード設定の各項目に反映し、ノード登録ボタンを押下すと監視対象ノードの登録を行います。

■ メンテナンス

Hinemos マネージャー運用中に必要となるメンテナンス用の操作をここで実行することができます。



◆メンテナンス

監視履歴クリア :	監視の履歴情報が急激に肥大化し、Hinemos Manager の動作に問題をきたすような場合に実行します
バックアップ :	リポジトリや監視結果等を含む DB の内容をバックアップします
リストア :	前述バックアップのデータを用いて、リストアします。
データベース初期化 :	何らかの原因でデータベースが破損した場合に初期化を実行します
内部スケジューラのリセット :	Hinemos 内部のスケジューラを変更後の OS 時刻にあわせま
環境情報ダウンロード :	不具合時の解析を目的として、サポートに必要な環境情報の一式をダウンロードします

第4章 Hinemos の設定

4-1. Hinemos クライアントのインストール

本アプライアンス WEB I/F のダッシュボードより、操作用 PC(Windows)のバージョンに適合するバージョンの Hinemos クライアント及びノードマップオプション及びVM管理オプション用の追加ファイルをダウンロードしてください。

- Hinemos クライアント
- ノードマップオプション Hinemos クライアント用 追加ファイル
- VM 管理オプション Hinemos クライアント用 追加ファイル

Hinemos クライアントは、MSI ファイルをダウンロードし、実行するとセットアップウィザードが開始されますので、画面に従ってインストールを進めます。詳細はダッシュボードよりダウンロード可能なインストールマニュアルの「7 クライアント」に解説があります。

ノードマップ/VM 管理の両オプションについては、ダウンロードした zip ファイルに含まれる README.txt を参照しながら、インストールプログラム(VBS ファイル)を実行します。

Hinemos クライアントの起動と Hinemos マネージャーへの接続は、前述インストールマニュアルの「7 クライアント」を参照ください。

4-2. Hinemos マネージャーの設定

本アプライアンス WEB I/F のダッシュボードより、ユーザーマニュアル及び管理者ガイドをダウンロードし、参照ください。

4-3. 一括制御機能でのファイル配布

本アプライアンスには、一括制御機能で必要となる FTP サーバー機能を搭載しています。一括制御機能にてファイル配布を行う場合に利用してください。また、利用する場合は、以下に示す内容を確認してください。

4-3-1. 配布用の FTP アカウント及び FTP サーバーの IP アドレス

初期パスワードは本マニュアル「1-4. 初期設定情報」を参照してください。変更は「3-4. Hinemos サービスの設定」で解説しています。

4-3-2. ファイルのアップロード

ファイルのアップロードは FTP が利用でき、ログインユーザーは「1-4. 初期設定情報」にある「crftp」です。アップロード可能なディレクトリは、/files 以下のみとなります。

4-3-3. ファイル配布指定について

一括制御機能でファイル配布を行う対象機能は「ファイルシステム管理->ファイルコピー」及び「インストール管理->rpm インストール」です。ファイル配布を行う際のコピーファイルは FTP のルートディレクトリからの絶対パス（例：/files/a.txt）にて指定してください。

4-4. パッチプログラムの適用

Hinemos マネージャーで不具合が発生した場合、修正を行うためのパッチプログラムの提供を行う場合があります。提供したパッチプログラムは、WEB I/F のメンテナンスメニューにあるシステムの更新より、適用を行うことができます。

Hinemos クライアントやエージェントのパッチプログラム等については、弊社サポート窓口まで連絡をお願いします。

2015年1月

落丁・乱丁の場合はお取替えいたします。

EasyBlocks Hinemos4.1 アプライアンス ユーザーズガイド

ふらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F